

～みんなで考え、みんなで決めて、みんなで作る～

# みんなのまち通信いちき

地域で暮らす人々が中心となって、市木地区の課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する仕組みづくり(地域連携組織の設立)を市木地区でも進めています。検討委員会から準備委員会に移行しましたが、新型コロナウイルス感染予防の影響で集まることが制限されていたため、三役で準備を進め、第1回代議員会を開催しました。

## 三役会報告

「市木地区に必要なものは何なのか」をまず見つけ出すことが大切な第一歩でした。三役会での検討結果をご報告します。

6月6日(土)



今年度の計画を確認しながら、現況と合わせて進め方を再検討しました。

☆「意見・課題の集約」については、6～7月で聞き取りを行う。

8月8日(土)

民生委員、地域連携組織設立準備委員会の役員に対して、集落支援員が個別にヒアリングを行い集約した、地域の声を元に話し合いました。

☆地域連携組織として取り組みそうな課題を一度抽出することになりました。

☆ヒアリングをした世代がほぼ60代以上であったため、若い世代にむけたアンケートの実施を決定しました。(裏面に結果を一部掲載)

ヒアリングの結果を見ながら

内容が多岐にわたっているなあ...

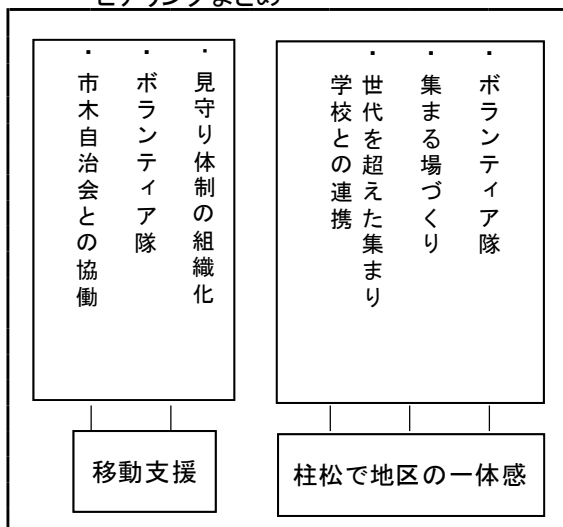
地域連携組織として出来ることは何かなあ...



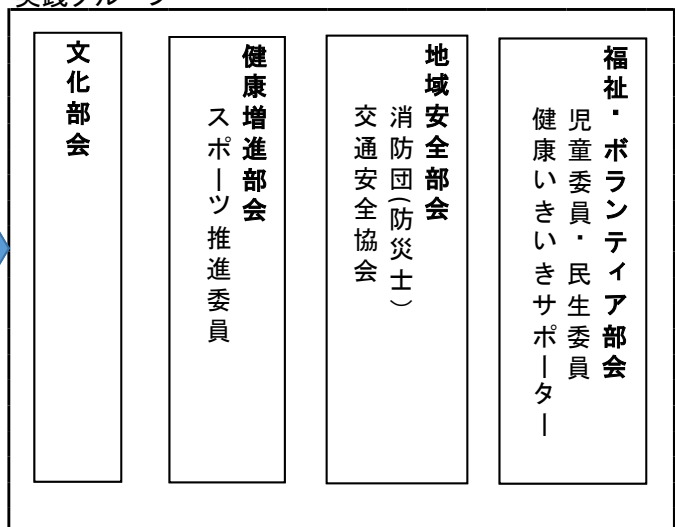
9月27日(日)

抽出された地域の声を分類し、そのなかから何が現実的にやれそうかを検討し、そのために必要と考えられる「実践グループ」を代議員会に提案することを決議しました。

### ヒアリングまとめ



### 実践グループ



# 代議員会報告

10月27日(火)



第1回代議員会を開催し、進捗状況等を報告しました。

<4つの実践部会提案理由> \*実施によって期待できること

- ・移動支援：見守り体制の組織化、ボランティア隊の立ち上げや市木自治会との協働
- ・柱松で地区の一体感：ボランティア隊の立ち上げ、集まる場づくり、世代超えた集まり、学校との連携などの動きが作れる

☆代議員会から出た意見

- ・働く場所がないと移住の呼びかけも難しい。IT関連ではリモートでの働き方もあるが地域との支えあいが重要、また市木で暮らす魅力の発信も必要では。
- ・柱松はこれまでどおり自治会中心で行い、地域連携の動きからは外してほしい。
- ・部会と現在ある各種団体の違いや役割が分かり辛い。
- ・地域連携については、これからもより多くの学習機会を設けるべきではないか。

☆今後の方向性について

- ・地域連携組織の立ち上げは今年度中と限定せず、お互いの考えの理解を深める。
- ・今後も地域連携についてさらに学習し、理解を深める。

## 三役紹介

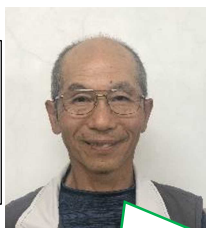
コロナ禍の厳しい状況のもと、10月末の代議員会まで三役で準備を進めてきました。

長野会長



このしくみに市木らしい、いい名前が欲しいなあ

清水副会長



地域連携、人とのつながりが重要だけど、難しいところやね。

磯崎副会長



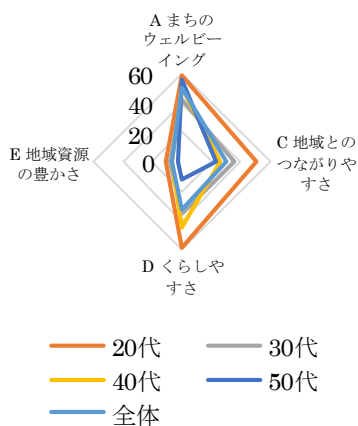
もっともっと、じっくりみんなで話をせんとね。

児玉書記会計



柱松をみんなで残していきたいね。

## 20代～50代に向けたアンケート結果



地域資源の利用についてどの年代も数値は低い  
 暮らしやすさ、地域との繋がりやすさは30%  
 まちの幸せ度や暮らしやすさ(※ウェルビーイング)50%~60%  
 (代議員の高橋さん(平田地区 QCMA(株))にご協力いただきました。)

### 目指したいビジョン

- ・おかげさま、お互いさまの気持ちで自然と声掛けや助け合いがある地域
- ・子どもたちが元気に遊びのびのび育つ地域
- ・人を大事にし、人を育てる風土がある地域
- ・地域の資産(自然・文化・歴史・人材・産業)を守り活かせる地域



市木地区地域連携組織設立準備委員会 事務局  
 串間市役所市木支所内 担当：佐藤明子  
 ☎：71-5011 ☎：71-5012